



県民の森 植物紹介 ③① ーニシキギ (ニシキギ科)ー

ニシキギは、秋の真っ赤な紅葉がとても美しいため、着物の錦に例えたのが名前の由来です。枝から垂れ下がる赤い実も宝石のようです。実は、秋に熟すと皮が割れて、朱色の種がぶらさがって出てきます。野山に自生していますが、観賞用として公園や庭木として植えられることも多いです。花期は初夏で、緑色の小さなかわいい花が咲きます。ニシキギの枝には、コルク質の翼（よく）という羽のようなものがついているのが特徴です。上から見ると十字になっていて、変な形をしているのでよく目立ちます。翼がないのがニシキギの変種であるコマユミです。

県民の森では、ニシキギは学習館前やみんなの広場の記念碑、樹木園などで観ることが出来ます。コマユミは木材工芸センター裏の遊歩道や樹木園などで出会えます。枝の羽の有無で見分けてみてください。



ニシキギの紅葉 10月6日



翼と熟した実 10月31日



花 5月25日